

Q 英語力を伸ばしたい
のですが、どうすれば…?



英語は道具。
まずは
コミュニケーション
を楽しもう!

上達のカギは、
会話を重ねること。

日本人の多くが英語に苦手意識を抱く原因は、中学・高校で読み書き中心の受験用の英語しか勉強してこなかったからだと思います。そのため、スピーキングでつまづいている印象を受けます。どんな国でも、赤ちゃんが喋れるようになる過程では、まず聞くことからスタートしますよね。次に言葉を発し、最後が読み書きです。日本の英語教育は、その逆。リスニングとスピーキングの機会が圧倒的に足りません。そもそも、アルファベットで構成される英語は日本語とは言語学的に遠いもの。もっと英語に触れて、知ることが大切です。日常的に10分でも20分でも、ひとつのテーマで語り合ってみれば、必ず上達が実感できるはず。私のクラスでは、テーマを設けて話し、その内容をさらに第三者に伝えるなどの会話を中心。コミュニケーションの道具として英語を楽しむことが、上達のカギです。



ゲーム感覚で学べる
英語アプリを制作中。

私たち英語教育に携わる者にとっては、学習者のモチベーションを引き出すことも一つの課題です。一人ひとりの学習レベルを正しく把握し、少し頑張れば達成できるような目標を与えて、学ぶ意欲につなげてあげたい。そのために今、私が取り組んでいるのが、英語学習のためのアプリケーション制作です。日本の英語学習アプリは、紙面上のテキストをデバイスへそのまま移行しただけのものがほとんど。ゲームのようにクリアする楽しさを取り入れたいと考えています。学びによる成功体験を重ねる仕組みがあれば、日本はもっと英語が得意な国になると思いますよ。

私の学生時代

日本での出会いが
今につながっています。

交換留学生として来日し、大阪のホストファミリーに1年間お世話になっていた頃の写真。最初のひと月こそお客さん扱いだったけれど、あとは家族の一員として接してくれたことがうれしかったですね。「日本は最高だ!」と思いました。



PROFILE

マックス・プレーバー 先生

日本で働きながら修士・博士号を取得したプレーバー先生。「日本の高校で教えていたこともありますが、もっと自由な学びを提供したいと、大学で教えることをめざしました。今でも私のモチベーションになっています」。

